

2017年9月期 決算説明会

(2016年10月1日～2017年9月30日)



MARUYAMA MFG. CO., INC.

目 次

- ◆会社概要 P. 2
- ◆2017年9月期 業績概要 P.12
- ◆丸山グループ中期経営計画 P.20
- ◆2018年9月期 業績予想 P.29

会社概要



MARUYAMA MFG. CO., INC.

当社の事業内容



農林業機械分野 >



産業機械分野 >



防災関連分野 >

農林業用機械分野

現在、丸山グループの基幹となっている事業です。丸山独自のポンプを使用した防除機は、変化し続ける農家の皆様のニーズに対応すべく、多種多様な製品を製造・販売しております。また、自社製の2サイクルエンジンを使用した刈払機、チェンソーなども扱っています。

産業機械分野

現在、丸山製作所が力を入れている事業です。高圧洗浄機や洗車機、ミスト装置などに使われる産業用の高圧ポンプの開発・製造を行っております。また、畜舎内の病原菌の感染を防ぐ車両消毒装置など、環境衛生機器分野にも丸山製作所のポンプは活用されております。

防災関連分野

丸山製作所は日本で最初に消火器の製造・販売をした企業です。多様化する社会の中で「環境とより安全な消火器で社会に貢献する」という理念のもと、消火薬剤のリサイクル化を進め、技術改良と製品開発により、さまざまなニーズに対応しております。

当社の主力

消火器の製造から始まり、現在ではポンプ・エンジンが当社のコアテクノロジーです。

ポンプとエンジンは製品の動力源であり、製品の心臓部となるものです。様々な分野の製品で活用されています。

ポンプ & エンジン



国内の販売・生産・サービス拠点



物流拠点(福島)



千葉工場

(東京ドーム3個分の敷地)

- 本社 Headquarters
- 千葉工場 Chiba Plant
- 事業所 Business offices
- 営業所 Sales offices
- 関連会社 Affiliated companies



西部丸山(岡山)

本社
生産拠点

東京都千代田区
3ヶ所
千葉県東金市(2ヶ所)
岡山県苫田郡

営業拠点

全国26ヶ所
北海道(札幌・帯広)/青森/
岩手/秋田/山形/宮城/福島/
茨城/栃木/千葉/東京/新潟/
長野/山梨/石川/愛知/静岡/
大阪/広島/岡山/香川/福岡/
熊本/鹿児島/宮崎

物流拠点

3ヶ所
福島県・千葉県・岡山県

関係会社

日本クライス株式会社
マルヤマエクセル株式会社
西部丸山株式会社
丸山物流株式会社

海外の販売・生産拠点



- MARUYAMA MFG EUROPEOFFICE

- 欧州における市場調査
- 林業用機械の販売促進

- 中国市場向けに農林業用機械の販売

- 丸山（上海）貿易有限公司

- MARUYAMA MFG (THAILAND) CO.,LTD.
ASIAN MARUYAMA(THAILAND)CO.,LTD.

- 農林業用機械の製造・販売
- 東南アジア市場向けを中心に販売



- MARUYAMA U.S.,INC.

- 北米を中心農林業用機械を販売



ポンプを使用した工業用製品



スパウターによる消臭作業



テーマパークで使用されるミスト



高圧洗浄機



温度管理ミスト



カーウォッシャー



災害時緊急給水RO

ポンプを使用した農業用製品



北京オリンピックでの消毒作業



牛舎での消毒作業



背負動力噴霧機



ステレオスプレーヤ



ハイクリブーム



マルチローター

【畑・ビニールハウス】

【果樹園】

【田・畑】

【中山間地】

エンジンを使用した製品



刈払機

【庭園】



ブロワー

【公園】



ヘッジトリマー

【庭園】



チェンソー

【山林】



背負動力噴霧機

【畑】

当社の強み（製品）

当社の製品は様々な分野でトップシェアを獲得しています



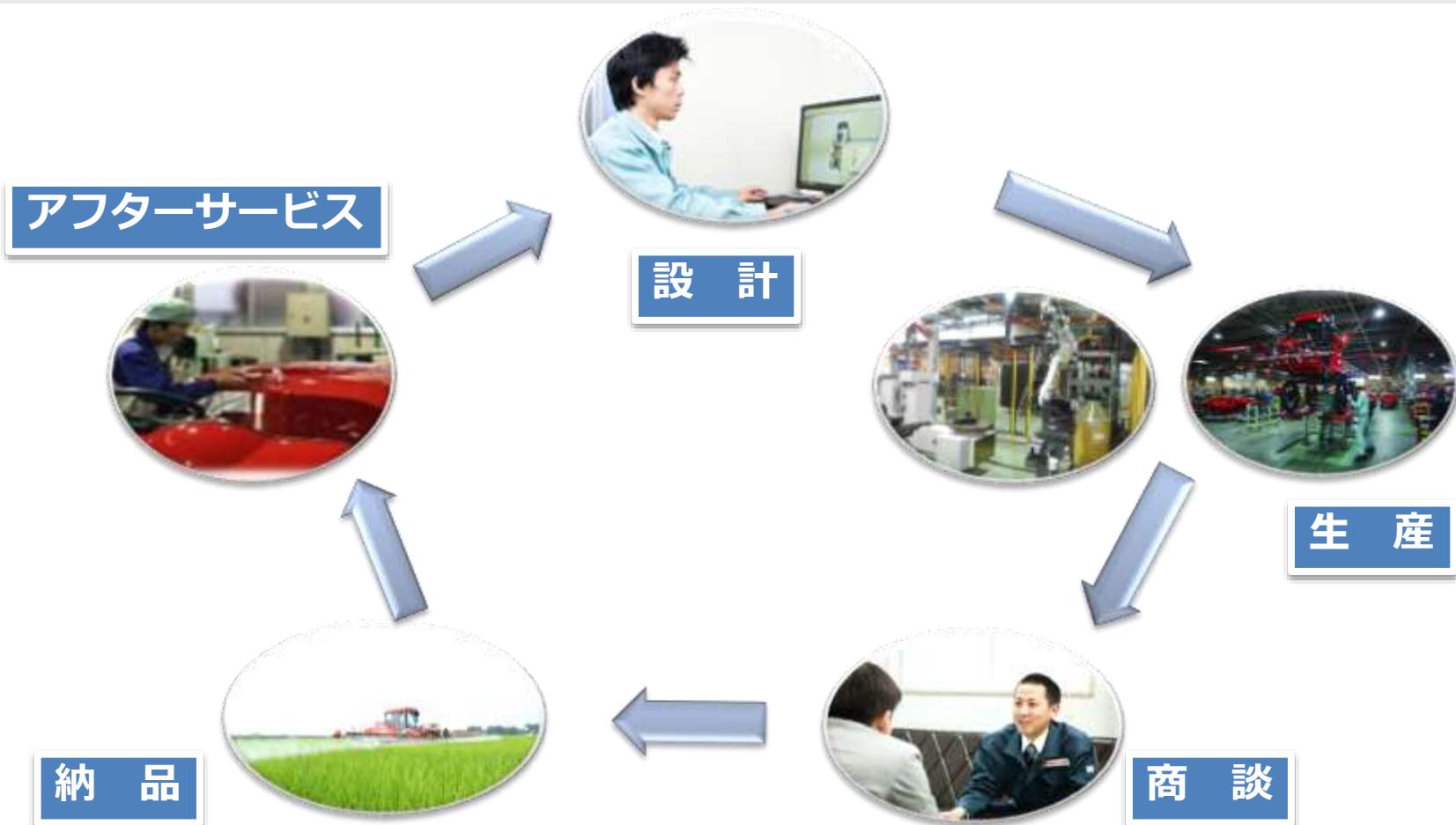
ポンプ製品の農業用
防除機で
国内トップシェア

海外（北米）での
カーウォッシュ用ポンプでトップシェア

エンジン製品の刈払機でホームセンター流通において
国内トップシェア

当社の強み（生産体制）

丸山グループは設計・製造からお客様のお手元に製品が届くまで、グループ内で一貫して行なっております



2017年9月期 業績概要 (2016年10月1日～2017年9月30日)



MARUYAMA MFG. CO., INC.

2017年9月期 連結業績概要

単位：百万円	2016年9月期 実 績		2017年9月期					
			当初予想		実 績			
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	前期比	予想比
売上高	34,316	100.0%	35,500	100.0%	35,508	100.0%	3.5%	0.0%
営業利益	707	2.8%	900	2.5%	973	2.5%	37.6%	8.1%
経常利益	457	2.1%	800	2.3%	1,036	2.3%	126.8%	29.5%
当期純利益	222	0.8%	450	1.3%	750	1.3%	237.3%	66.7%

- ・ 売上高は前期比3.5%増。
- ・ 国内は動力噴霧機・刈払機・部品の売上が増加。海外は工業用ポンプが増加。
- ・ 営業利益は売上高の増加、固定費の削減に努めた結果、前期比37.6%増。
- ・ 経常利益は円安に伴う為替差益の増加等により前期比126.8%増。

為替レート	2017年9月期 想定レート	2017年9月期 実績レート
米ドル	105円	110円
ユーロ	120円	122円

連結業績増減要因

単位：百万円	2016年9月期	2017年9月期		
	実績	実績	増減額	変動要因
売上高	34,316	35,508	1,192	
売上総利益	8,704	9,009	305	売上高の増加
粗利率	25.4%	25.4%	Opt	在庫削減に伴う生産性低下による利益率減 工業用ポンプなどの利益率の高い流通の売上増
販売管理費	7,996	8,036	40	売上増加に伴う物流費の増加
営業利益	707	973	266	
営業外収益	142	241	99	円安推移による為替差益の計上 雑収益の減少
営業外費用	393	178	△ 215	円安推移による為替差損の減少 有利子負債返済による利息支払の減少
経常利益	457	1,036	579	

四半期ごとの業績推移

国内の農業用機械の需要期が3月から7月であるため、

売上・利益ともに第2・第3四半期（1月から6月）に集中する傾向



セグメント別業績概要

単位：百万円	2016年9月期			2017年9月期					
	売上高	売上高比	営業利益	売上高	売上高比	前期比	営業利益	前期比	変動要因
農林業用機械	26,548	76.7%	939	27,683	77.9%	4.3%	1,211	29.0%	国内：動力噴霧機・刈払機・部品の増加 海外：林業用機械の増加
工業用機械	5,194	15.0%	938	5,390	15.1%	3.8%	979	4.4%	国内：前期並み 海外：工業用ポンプの増加
その他の機械	2,368	6.8%	86	2,234	6.3%	△5.6%	85	△1.4%	消火器等の売上が減少
不動産賃貸他	522	1.5%	268	514	1.5%	△1.4%	295	△10.1%	賃貸収入の減少

- 農林業用機械は、国内・海外共に堅調に推移し、売上高は前期比4.3%増
- 工業用機械は、国内は前期並であったが、海外が好調であったため売上高は前期比3.8%増
- その他の機械は、消火器等の消防設備の売上が伸びず、前期比5.6%減
- 不動産賃貸他は、賃貸収入の減少により、売上高は前期比1.4%減

地域別売上高

単位：百万円	2016年9月期 実績			2017年9月期 実績			変動要因
	金額	売上高比	前期比	金額	売上高比	前期比	
売 上 高	34,316	100.0%	△2.5%	35,508	100.0%	3.5%	
日本 (国 内)	27,128	79.1%	2.9%	27,652	77.9%	1.9%	動力噴霧機・刈払機・部品の増加
北 米	2,452	7.1%	△29.1%	2,761	7.8%	12.6%	工業用ポンプの増加
欧 州	2,129	6.2%	△13.2%	2,662	7.5%	25.0%	工業用ポンプの増加
ア ブ リ ア	1,684	4.9%	19.9%	1,438	4.1%	△14.6%	農林業用機械の減少
その他の地域	921	2.7%	△38.7%	992	2.7%	7.7%	農林業用機械の増加

- 北米については、工業用ポンプが増加。景気が回復傾向。
- 欧州については、工業用ポンプが増加。林業用機械についても堅調に推移。
- アブリニアは前期同様、韓国が好調であったが、他の地域が天候や政治情勢等により売上減。
- その他の地域に関しては、農林業用機械が堅調に推移。売上は微増。

貸借対照表

単位：百万円	2016年9月期末		2017年9月期末		増減額	主要因
	金額	構成比	金額	構成比		
総資産	34,081	100.0%	33,513	100.0%	△ 568	
流動資産	21,619	63.4%	20,980	62.6%	△ 638	たな卸し資産の減少
固定資産	12,462	36.6%	12,532	37.4%	70	投資有価証券の増加
流動負債	15,519	45.6%	11,301	33.7%	△ 4,218	短期借入金の減少
固定負債	4,714	13.8%	6,867	20.5%	2,152	長期借入金の増加
純資産	13,847	40.6%	15,344	45.8%	1,497	その他有価証券評価差額金の増加

	2016年9月期末	2017年9月期末
自己資本比率	40.6%	45.8%
流動比率	139.3%	185.6%

キャッシュフロー計算書

単位：百万円	2016年9月期	2017年9月期	前期比	変動要因
営業活動によるキャッシュフロー	760	3,865	3,105	たな卸し資産の減少 税金等調整前当期純利益の増加
投資活動によるキャッシュフロー	△ 1,484	△ 1,222	261	有形固定資産の取得による支出の減少
フリー・キャッシュフロー	△ 724	2,643	3,367	
財務活動によるキャッシュフロー	542	△ 2,215	△ 2,758	短期借入金の減少 長期借入金の返済による支出の増加
現金及び現金同等物期末残高	1,922	2,481	488	

単位：百万円	2016年9月期	2017年9月期
設備投資	1,371	657
研究開発費	1,087	1,109
減価償却費	904	1,151

丸山グループ中期経営計画 (2017年9月期～2019年9月期)



MARUYAMA MFG. CO., INC.

経営基本方針

収益力

- ・財務体質の強化
- ・成長事業の創出

財務体質
の強化

- ・在庫の削減
- ・購買力の強化

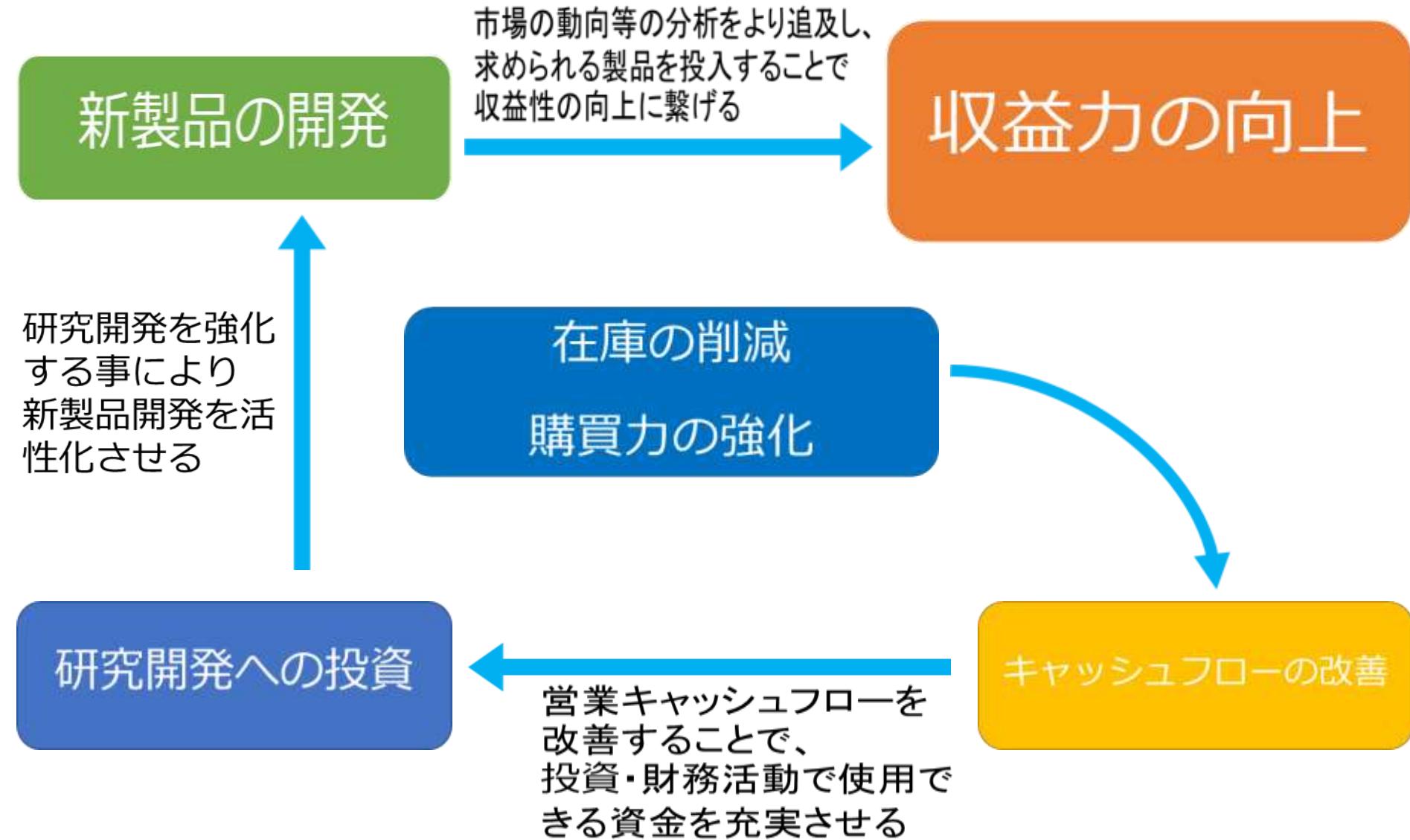
成長事業
の創出

- ・ポンプ事業をコア
- ・サービス事業の拡大

経営数値目標(2019年9月期)

売上高	37,000百万円
営業利益	1,800百万円
純利益	1,000百万円
ROE	6.0%以上

財務体質の強化



財務体質の強化 -在庫の推移-

- ・3月から7月が農業用機械の需要期のため、第2四半期末の在庫が期末よりも多くなる傾向
- ・在庫削減をキーワードに全部門において業務プロセスの見直しを行なった結果、在庫を大幅に削減



財務体質の強化 -進捗状況-

・在庫の削減・購買力の強化

- ・在庫削減をキーワードとして全部門において業務プロセスを改善
在庫金額は前期比22.8%（1,856百万円）の減少
有利子負債を大幅に削減
- ・今期より調達本部を新設し、丸山グループ内の購買を一括管理
業務の効率化と生産性の向上を目指す

・キャッシュフローの改善

- ・全部門において業務の効率化、有利子負債も削減に取組んだ結果、
キャッシュ・フローが改善

・研究開発への投資

- ・前期よりグループ全体の研究開発を統括する研究開発部を新設
新製品開発の体制を強化
- ・フリーキャッシュフローの増加により、研究開発への投資が可能となる。
今期も新製品の開発・モデルチェンジ等の開発を予定

成長事業の創出 ポンプをコアに事業を拡大

農業用

工業用



国内：成熟市場



農家の省力化により大型機械市場は伸張傾向

国内：成長市場



洗浄機市場は高圧洗浄機・エアコン洗浄機などを中心に需要が増加

海外：成長市場



農業の機械化が進むアジア市場をメインに市場を開拓していく

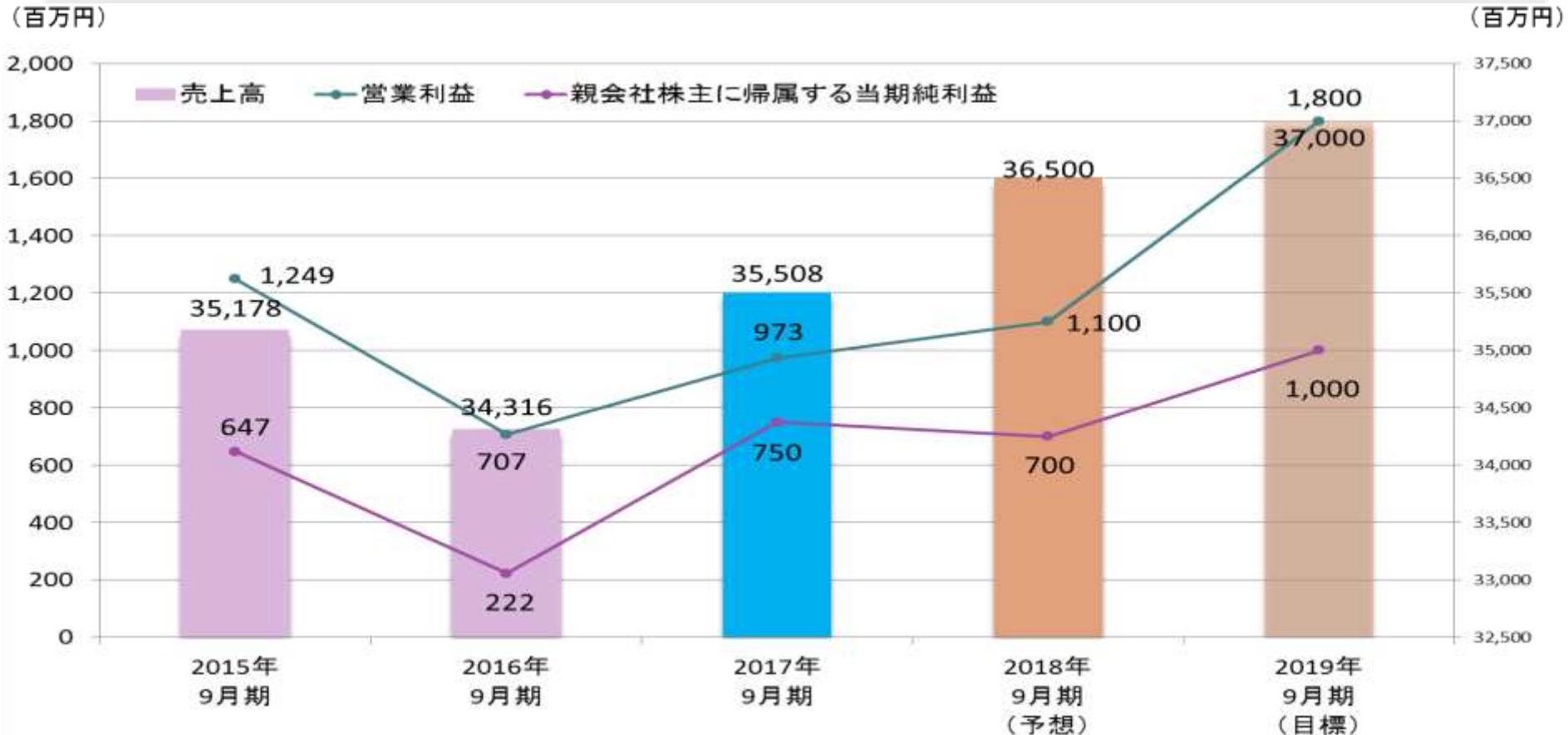
海外：成長市場



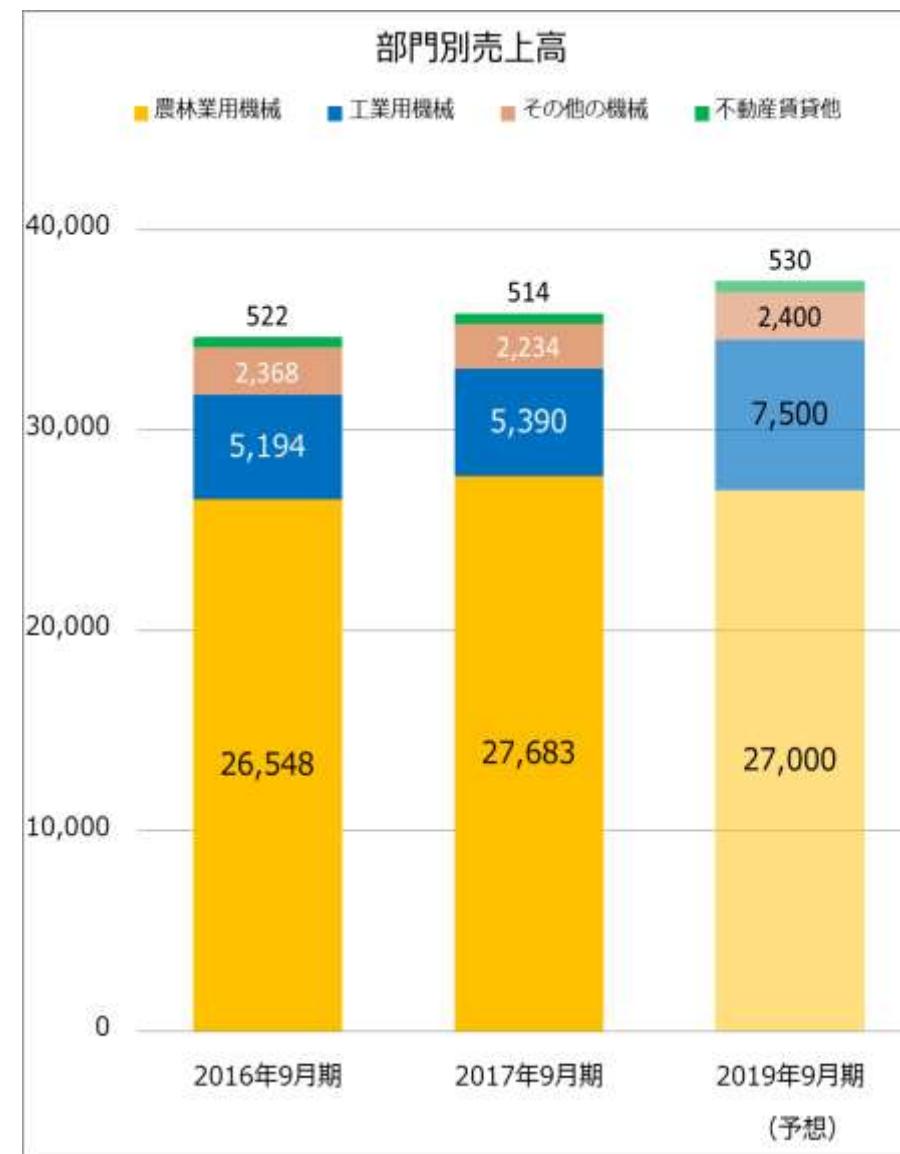
環境ニーズの高まりにより、温度管理ミスト等の環境を意識した製品で市場を開拓

数値目標

財務体質の強化・成長事業の創出を推し進め、収益力の改善を図っていきます。



部門別・海外売上高目標



今後期待される製品

海外の広大な公園にも対応可能
<待望の80CCブロワー誕生>



防除はついに空へ
<中山間地などでの防除の省力化を実現>



大規模圃場にも対応可能
<3,000 ℥ タンク搭載 ハイクリブーム>



2018年9月期 業績予想

(2017年10月1日～2018年9月30日)



MARUYAMA MFG. CO., INC.

2018年9月期 業績予想

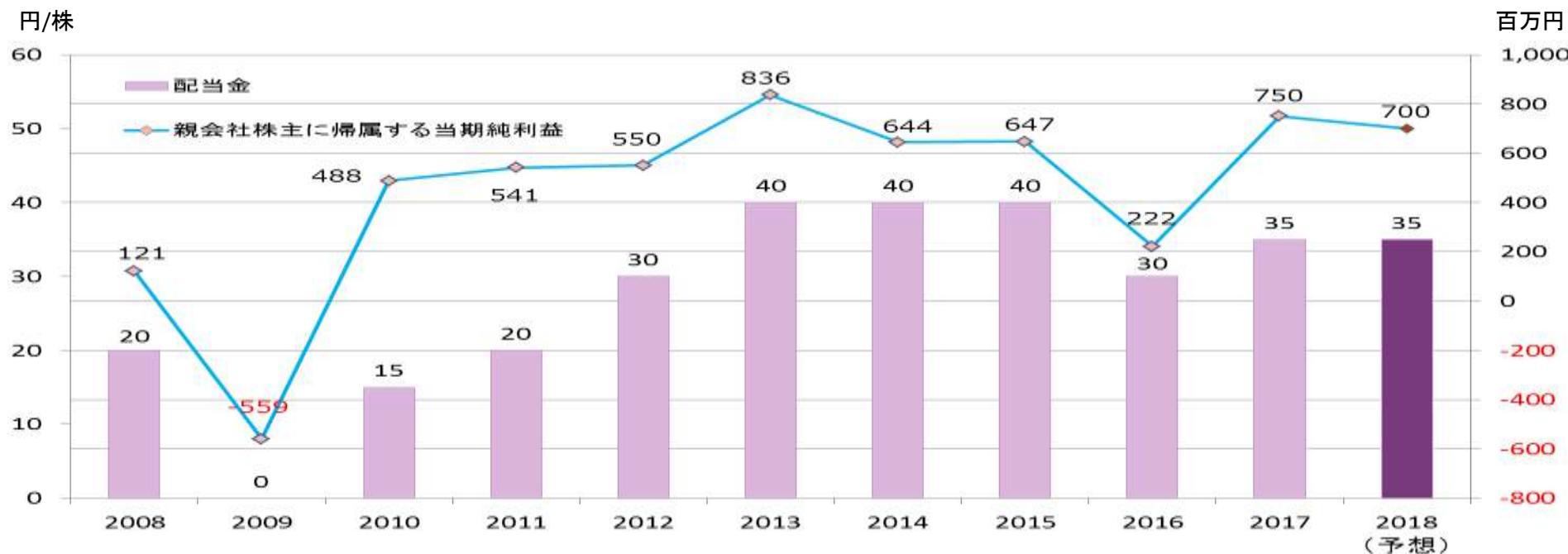
- ・成熟市場の国内では新製品投入で市場の活性化を図り、前期同水準を確保
- ・海外においては、ヨーロッパ・アジアを中心に積極的に新規開拓を進めていく

単位：百万円	2017年9月期 実 績		2018年9月期 予 想		
	金額	売上高比	金額	売上高比	前期比
売上高	35,508	100.0%	36,500	100.0%	2.8%
営業利益	973	2.1%	1,100	2.5%	13.0%
経常利益	1,036	1.3%	1,050	2.3%	1.3%
当期純利益	750	0.6%	700	1.3%	△6.8%

為替レート	2017年9月期 実績レート	2018年9月期 想定レート
米ドル	110円	110円
ユーロ	122円	125円

株主還元

安定的な配当を継続することを基本として、将来の事業展開に必要な内部留保ならびに業績見込みなどを勘案することを方針としております。



	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018年（予想）
配当性向	82.2%	—	15.3%	18.4%	27.0%	23.6%	30.5%	30.3%	66.1%	22.9%	24.5%

※2017年4月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、1株あたりの配当金については株式併合後の金額を記載しております。

參 考 資 料



MARUYAMA MFG. CO., INC.

会社概要（2017年9月30日現在）

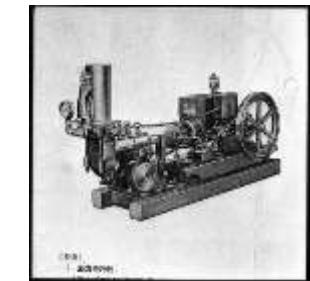
社名	株式会社丸山製作所
代表者	代表取締役社長 尾頭正伸
本社	〒101-0047 東京都千代田区内神田3丁目4番15号
創業・設立	【創業】1895年 【設立】1937年11月
資本金	46億51百万円
売上高	355億8百万円（2017年9月期）
事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
上場	東京証券取引所 市場第一部
従業員数	【単体】546名 【連結】930名
証券コード	6316
事業内容	農林業用機械、工業用機械、消防機械の製造・販売
URL	http://www.maruyama.co.jp/

沿革

- 1895年 新潟県高田町にて丸山商会を創業
(日本で初めて消火器を製造)
- 1918年 人力噴霧器の製造・販売
- 1935年 動力噴霧機の製造・販売
- 1937年 株式会社丸山製作所を設立
- 1961年 東京証券取引所市場第二部に上場
- 1967年 工業用ポンプを開発
- 1977年 東京証券取引所市場第一部に指定
- 1990年 オリジナル2サイクルエンジン開発
- 2000年 新環境型2サイクルエンジンを開発
カリフォルニア州排ガス規制クリア
- 2004年 消火剤リサイクル… eco消火器を販売
- 2012年 キャビン付ハイクリブームの開発
- 2015年 創業120周年
- 2016年 マルチローター(ドローン)の開発



丸山式消火器



横型三連式動力噴霧機



工業用ポンプ



2サイクルエンジン

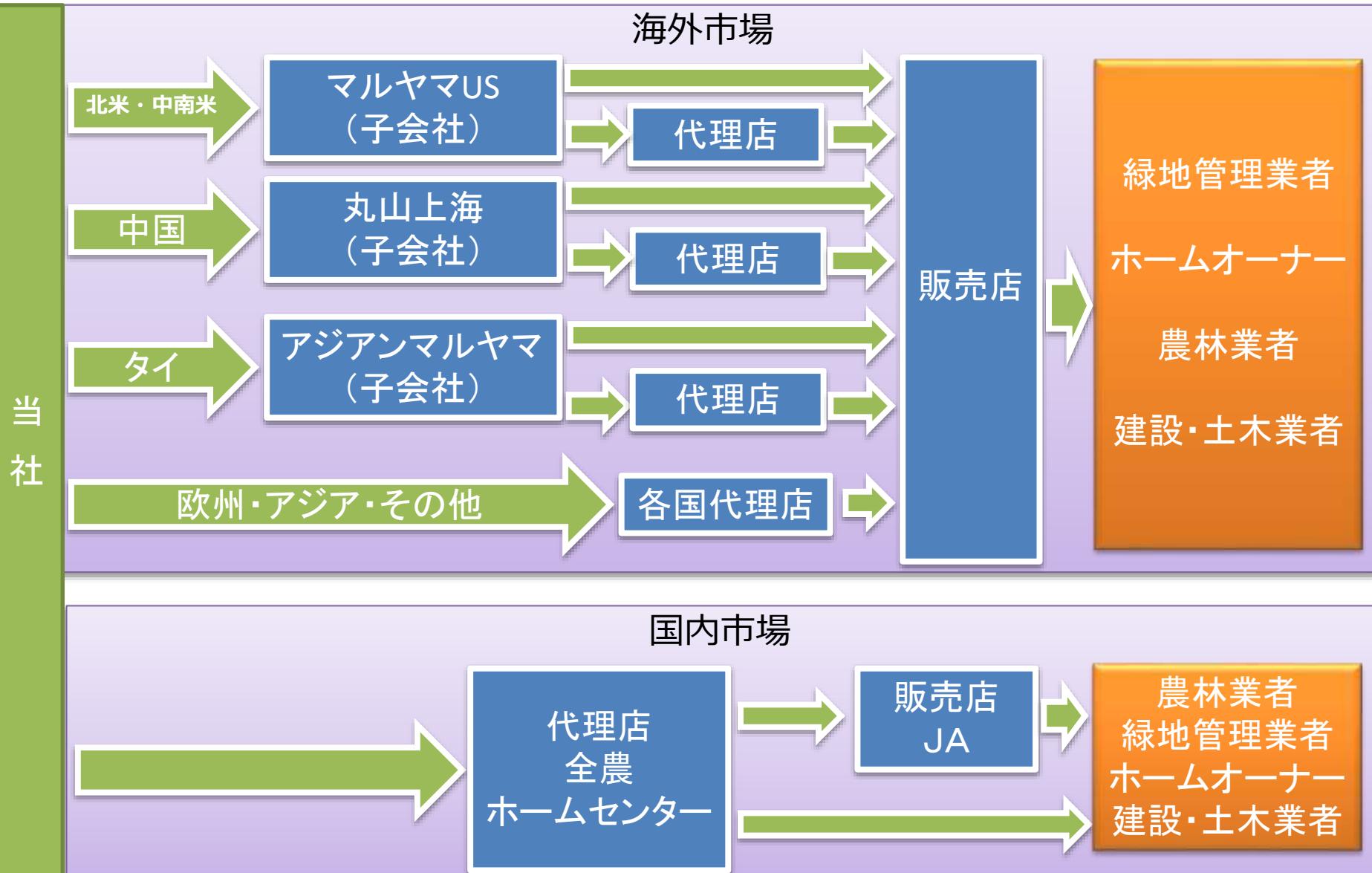


キャビン付ハイクリブーム

当社製品



主な販売経路



当社製品に対する評価



中国市場向けの当社製品であるハイクリブームが市場の評価を受け、中国にて2つの賞を受賞いたしました。

第七回精耕杯



中国市場の評価を得て、中国に100社以上ある防除機メーカーの中から「ユーザーが最も信頼する防除機ブランド10社」に選ばれました。

2016年度高効施薬新設備貢献賞



中国の防除機メーカー市場の評価を考慮し、特に優秀で高効率な防除製品に対し表彰される「年度高効施薬新設備貢献賞」を受賞しました。

農業活性化への取組み

- ・農業女子と企業を結びつけることで農業の活性化を図る農林水産省主催「農業女子プロジェクト」に2013年から参画
- ・L（レディース）プロジェクトが中心となり、女性目線での女性のための製品の開発を推進し、他社とも共同し製品化を目指す

女性目線でバッテリー動噴を共同開発
-JA全農様とのコラボレーション-



千代田区で開催された
「丸の内農園」に出展



本日はありがとうございました

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

【IRに関するお問い合わせ先】

株式会社丸山製作所
人事総務部

〒101-0047 東京都千代田区内神田3-4-15
TEL : 03-3252-2271
E-mail : ir-contact@maruyama.co.jp